

# 1. 帰依文について

??  
??  
??  
??

さん ぎえ ちゅ たん つおク き ちょク なむ  
ら |  
ちゃん ちゅプ ぱる とぅ だク に きゃプ す  
ち |  
だク き じん そク ぎ ペ そ なむ き |  
ど ら ぺん ちる さん ぎえ どうプ ぱる しょ  
ク |

**ブツダとダルマと聖なるサンガとに  
菩提を得るまで帰依したてまつる  
わが積みきたる布施など福德で  
衆生のためにブツダになることを**

これはチベット仏教の各宗派共通の帰依文で、たぶんアティーシャ大師が作られたのではないかと思っているのですが、あるいは違うかもしれません。

3行目、「布施など福德で」は直訳なのですが、あるいはわかりにくいかもしれません。布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の《六波羅蜜》ということ踏まえていて、「布施とその他の五波羅蜜」という意味です。

4行目、「ブツダになることを」は、直訳すると「ブツダを達成しよう」ということです。伝統的な漢訳では「成仏する」と訳されます。しかし、日本語では「成仏する」というと「死ぬ」ということを意味しそうな気がしますので、「ブツダになることを」という訳文にしました。日本仏教は、自分がブツダになるということはあまり考えていないような気がするのですが、チベット仏教はきわめてはっきりと自分がブツダになることを目的にしています。ただし、今生ではとうてい無理だと思うので、来生のいつかにブツダになることを目標に、今生を大切に、六波羅蜜の修行をしようと考えているのです。